

2023年度研究奨励賞のお知らせ

日本宗教研究諸学会連合研究奨励賞 第4回 申請募集

多様な宗教研究の振興、若手研究者支援のために発足した「日本宗教研究諸学会連合研究奨励賞」制度は、本年度（第4回）も7月1日～8月14日に募集を行います。本連合参加学会の会員であればどなたでも応募可能です。どうぞ貴学会の会員の皆様に広くお知らせくださいますようお願いいたします。

募集要項と申請フォームを[本連合HP](#)からダウンロードし、メールにて申請する方式です。

これまでの受賞者についてもHPをご覧ください。



Victims of War in Ukraine - Kyiv Hospital -
Exhibition by Still Miracle Photography 12

昨年度の活動報告



毎年恒例の日本学術会議哲学委員会主催・日本宗教研究諸学会連合／日本哲学系諸学会連合共催 公開シンポジウムを、昨年度もオンラインにて12月10日に開催いたしました。テーマは「今、なぜ「国家」が問われるのか?」。本連合からは芦名定道運営委員がオーガナイザーと報告者を務めました。加盟学会からは日本宗教学会の八木久美子常務理事をお招きし、ご報告いただきました。詳細な報告は[本連合HP](#)にてご覧いただけます。

発行

日本宗教研究諸学会連合事務局

office.jfssr2008@gmail.com

このNLは本連合のHPにも掲載しています

シンポジウムが本になりました

本連合の土井健司幹事がオーガナイズした、2021年度の学術会議哲学委員会主催・本連合共催のシンポジウムが今年1月に書籍として出版されました。

『「人間の尊厳」とは一コロナ危機を経て―』（学術会議叢書30）

学術会議叢書からは、他に、『人文社会科学とジェンダー』（29）に加盟学会である日本宗教学会の川橋範子常務理事が寄稿されています。どちらもぜひご一読ください。

お知らせ

- 本年度の公開シンポジウムは、「AI時代における哲学・美学・倫理・宗教」をテーマに12月上旬にハイブリッド方式で開催する予定です。
- 内閣府による「日本学術会議の在り方についての方針」をめぐるっては学術会議と多くの加盟学協会から懸念が示され、今春の改正法案の議会への提出は見送られました。情報を運営委員会でも共有していきます。
- 貴学会が主催するシンポジウムや学会企画を、本連合から（運営委員会が審議した上で）共催／後援します。事務局にご申請ください。